

## 「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校及び森孝中学校の統合について(案)」 に対してのご意見について

令和 5 年 11 月に「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校及び森孝中学校の統合について(案)」の資料を該当校の保護者に(590 部)配布させていただきました。その後、いただいたご意見に関し、教育委員会の考え方をまとめました。より詳しい内容は「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校及び森孝中学校の統合について(案)」に対してのご意見について詳報」をご覧ください。

本地丘小・森孝東小・森孝西小における取り組みのウェブサイト  
(配布資料やご意見に対する考え方の詳細を掲載しています。)  
<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-4-5-0-0-0-0.html>



### 配布資料に対する主なご意見と教育委員会の考え方

※ご意見については、同様のものが多数ありましたので、ご意見の内容をまとめて作成させていただいております。

#### 【統合案について】

Q 統合については、これまでも説明会が開かれて、地域から反対意見が出ていていると聞いていますが、地域住民と十分に話し合った上で、再計画案なののでしょうか。今後のスケジュールとして、地域や保護者向けに説明会を開催する予定がありますか。

A 森孝中学校ブロックの小学校がすべて小規模校であり、配付させて資料でお示しさせていただいたように、小規模校には多くの課題があり、適正規模の統合校を開校したいと考えております。これまでのヒアリングの中で、敷地面積や統合後の地域活動等について心配の声をいただいておりますが、その心配が解消されるよう引き続き丁寧に説明をしていきたいと考えています。

説明会については、今後、より具体的なプランが作成された後に開催させていただきますが、必要に応じて各学校等でご意見を伺ったり、説明をさせていただいたりする会を開催させていただきたいと考えております。

Q 今回の統合案は、統合が正式に決定したかのように見える資料で違和感があります。

A 現在、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」の「ステップ1」で、地域や保護者等の皆様にヒアリングをさせていただくことを通して事前調査をしている段階ですので、統合が正式に決定しているわけではありません。

#### 【教育活動について】

Q 現在、少人数教育の効果としてメリットが多いことが示されていると思いますが、統合して児童生徒数が増えることは、時代に逆行しているのではないのでしょうか。小規模校の方がメリットが多いと思いますが。

A 学校教育においては、子どもたちが、多様な考えにふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切であり、その教育効果を十分に上げるためには、一定の集団規模が必要であると考えています。

現在、名古屋市では、35 人学級制を導入するとともに、小学校1・2 年生においては 30 人学級制を採用しています。統合後の小学生の人数は約 300 人程度と想定され、1 学級の人数は、1 学年 50 人程度になり、1 学級当たりの人数は 25 人程度が見込まれます。統合して児童数が増えたとしても、1 クラスあたりの人数はさほど変わらず、学級数が増加することによる教育効果を見込むことができると考えます。

Q 小中学校の併設も特にメリットは感じませんが、どうですか？もし、小中併設型になったとしたら、中学校にも給食は提供されるのでしょうか。

A 小中併設型の学校では、年間を通じた教育や小・中学校教員の相互乗り入れの指導により、学習意欲の向上、授業の理解度の向上、学習習

慣の定着が図れると考えています。また、中学校進学に伴う学習面や生活面のつまづき・負担、いわゆる「中1ギャップ」の緩和にも効果があります。中学生への給食の提供については、同じ施設内に給食調理場が整備されることから、統合が正式に決定した後に、保護者・地域・学校の皆様のご意見を伺いながら、検討してまいります。

Q 特別支援学級の人数も統合することで多くなるとは思いますが、入学できないということはないのでしょうか。

A 特別支援学級については、必要とするすべての児童生徒が通えるように、統合後も引き続き必要な学級数を設置していきます。

#### 【通学距離・登下校について】

Q 統合案では、統合校が現在の森孝中学校の場所になると、通学距離が2km以内に収まっているとことが示されていますが、小学校低学年の子どもにとっては遠すぎませんか。また、通学距離が伸びることで登下校の安全面が心配です。先行統合で、仮に本地丘小学校の場所に中学校が移転した場合には、中学生の登下校の負担も大きくなるのではないのでしょうか。

A 子どもたちの通学への負担や安全面の配慮については、大変重要であると考えています。名古屋市では、通学は徒歩を基本とし小学校では概ね2km以内で、中学校では概ね3km以内で通学路を設定しています。統合により通学路が変更になる場合には、詳細な現地調査を行い、地域の皆様や学校現場と協議しながら、新しい通学路の設定について検討していきます。また、関係機関と調整しながら、ガードパイプや横断歩道の設置など、通学路の状況に応じて必要な安全対策を講じてまいります。

Q 冬場に部活の後に薄暗くなり、どのように下校させるのか心配です。

A 冬場の下校にいては、同じ方面に住む子どもたちが固まって下校できるようにするなど、学校とともに検討していきたいと考えております。

#### 【学校施設について】

Q 現在の森孝中学校の敷地に小中学校が入ると、スペース的に狭くはないでしょうか。校門の場所も子どもたちが登下校しやすい場所に造ってほしいと思います。体調不良や体の不自由な児童生徒を送迎しやすいように保護者用の駐車場を造ってほしいです。

A 現在の森孝中学校の敷地の広さは、図面検討によると国の基準を満たしています。しかしながら、敷地を最大限有効に活用するために、効果的な空間利用を含めて大規模な整備工事が必要となります。校舎配置や校門の位置等については、統合が決定しましたら、保護者・地域・学校の皆様のご意見を伺いながら検討していきたいと考えております。駐車場の整備につきましては、体調不良や体の不自由がある場合等、特段の事情がある場合に限っては、これまで通り学校にご相談いただきますようお願いいたします。

#### 【その他】

Q 統合した後の小学校の跡地はどのようなのでしょうか。

A 統合により使用しなくなる校地や校舎は、防災拠点等、地域の防災機能に配慮しながら、余剰となる資産の有効活用を全市的な視点で検討します。跡地となった旧施設の管理を含め、地域の皆様のお声を伺いながら検討していきます。

Q 統合に伴い学校の場所が移動することで、子どもたちには少なからずストレスがかかると思いますが、心のケアなどがありますか。

A 統合に伴う新しい学校生活においては、通学する学校が変わることや新しい友達との関係、慣れない通学路等、子どもたちは統合前に比べ心身の負担がいくらか増えるものと考えており、その負担軽減を図ることは大変重要であると考えております。これまでの統合校では、子どもたちの学習や生活の悩みの相談を受けているスクールカウンセラーの配置時間を増やし、子どもたちの学校生活が軌道に乗るまで見守っております。

統合(案)について、ご意見等ありましたら、下記までご連絡ください。

名古屋市教育委員会 教育環境整備課

電話 052-972-3282

ファックス 052-972-4176

E-mail:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp